

【情報の対象】 学=学部生・大学院生 教=現職教員 市=市民

支援事業

平成26年度
課外プロジェクトが
決定 学

学生生活の一層の充実を図ることを目的に、大学院生、学部生が自主的に企画した取り組みに対し活動資金を支援する「課外プロジェクト」事業。今年度は8件の応募があり、下記の5件に決まりました。各プロジェクトの内容に応じて20万円を上限に、物品等の購入、旅費、謝礼等に係る費用を援助します。なお、平成27(2015)年度の募集は来年4月に告知予定です。

【今年度採択の課外プロジェクト】※敬称略

第6回よっ社こいこいまつり

宮北誠(学校教育学部言語系コース2年)

平成20(2008)年の第5回を最後に途絶えている祭りの復活に向け、よさこい部の2年生が中心となって第6回の実行委員会を設立。12月13日㊤の開催を目指す。

Intercultural Projects

藤池陽太郎(大学院専門職学位課程小学校教員養成特別コース3年)

日本人学生(主に学部生)と留学生の親睦を目的に、8月から2月にかけて月1回のペースでバーベキューや文化交流会を開催する。

カンボジアの子どもたちとの交流を通して
世界を知ろう

牧山達雄(大学院修士課程行動開発系教育コース1年)

神戸市内の小中学生を対象とした国際理解協力教育の出前授業。カ

ンボジア笑縁団体「Momojiro」の協力の下、日本とカンボジアの生活や教育環境の違いを学ばせる。

兵教びかびか大作戦!

青山武司(大学院専門職学位課程学校経営コース2年)

学校経営コースの大学院生37人が月2回、そろいのユニフォームを着て、キャンパス内のごみ拾いや草取りなどの美化に取り組む。

即興演劇の上演と稽古を通じた
留学生交流プロジェクト

大島秀子(大学院修士課程教育コミュニケーションコース2年)

留学生と日本人学生の混成メンバーで即興演劇(インプロ)に挑戦。稽古から公演までを通して、互いに理解を深めることを目的とする。

7月～9月の主な出来事

特別支援教育モデル研究開発室
「Café LiaisonⅢ」

7月15日 附属図書館ライブラリーホール

対話を通して特別支援教育への理解を深めるというイベント「Café Liaison」の3回目。「こう進めたい!学校現場のインクルーシブ教育システム」と題し、前文部科学省特別支援教育調査官の樋口一宗教授(特別支援教育コーディネーターコース)と、前小野市教育委員会学校教育課長の 大西義則教授(授業実践開発コース)が対談。樋口教授は国の立場から見たインクルーシブ教育の方向と支援の仕組みについて法律を交えながら説明し、大西教授は教育委員会や学校現場が抱えているインクルーシブ教育の課題を提示しました。会場には学部生や大学院生のほか、地域の教育関係者など50人余りが詰めかけ、インクルーシブ教育システム構築への関心の高さがうかがえました。



シンポジウム
「子育て支援の社会化
～地域社会連携における大学の役割～」

7月19日 神戸ハーバーランドキャンパス

今年度の運営費交付金特別経費の新規事業に採択された「大学の機能強化としての就学前教育専門職(仮称)養成の高度化と幼小連携を含めた総合的カリキュラム開発」の一環として開催。就学前教育カリキュラム研究開発室長、名須川知子教授が会の趣旨を説明した後、子育て支援センター(ルーム)を開設している兵庫県内の大学から、関西国際大学の濱田格子講師、夙川学院短期大学の井上千晶講師、神戸常盤大学の上月素子教授がそれぞれの取り組みを紹介しました。続いて、神戸大学大学院の伊藤篤教授が登壇。研究、教育、地域貢献の各視点から大学が子育てを支援することの意義について語り、会場の大学教員や幼稚園教員、保育士ら約50人は熱心に耳を傾けました。



募 集

公開講座
「特別支援教育キャラバン
— 姫路地域における特別支援教育を考える —
の受講生 学 教 市

「姫路きょういくメッセ」の特別セミナーとして開催。兵教大教員による特別支援教育に関する講演、姫路地域の学校等における特別支援教育への取り組みに関する実践発表を通し、特別支援教育の現状と課題について考えます。無料。

- ◎日時 / 2月7日(土)13:00～16:00
- ◎場所 / 姫路市立総合教育センター
- ◎対象 / 一般、現職教員
- ◎定員 / 150人(先着)
- ◎申し込み方法 /

12月中旬ごろから電話、ファクス、メールで受け付け。ファクス、メールの場合は住所、氏名、所属、連絡先、参加希望内容(※)を明記すること
 ※「姫路きょういくメッセ」のスケジュールは12月中旬ごろに姫路市立総合教育センターのホームページ、同メッセのフェイスブックに掲載予定です

☎ 姫路市立総合教育センター
 ☎ 079-224-5842 ☎ 079-224-5847
 ✉ himeji_edu_messe@himeji-hyg.ed.jp

催 し

教材文化資料館平成26年度後期展
「めざせ! 板書の達人」 学 教 市

板書の歴史を振り返るとともに、チョークの使い方や貼り物の工夫など板書の達人になるためのコツを紹介。開館5周年記念として県内の現職教員(大学院生を含む)を対象に板書の実践例を募集。第2期展示で全ての応募作品を展示し、特色のあるものは表彰します。



←「師範学校小學校教授法」(復刻)
 明治6(1873)年 雄風舎

- ◎開催期間 / 第1期:12月19日(金)まで、第2期:1月13日(火)～2月27日(金)
- ◎場所 / 教材文化資料館(附属図書館内)
- ◎開館時間 / 平日8:30～22:00、土曜・日曜・祝休日10:00～17:00
- ◎休館日 / 11月15日(土)、12月20日(土)～1月12日(月祝)、17日(土)、18日(日)、27日(火)、2月25日(水)、26日(木)
- ☎ 教材文化資料館 ☎ 0795-44-2362

理科&科学の
地域でのサイエンス祭

7月25日～28日 小野市うるおい交流館エクラ

小野市との地域連携推進事業として平成22(2010)年度から始まった同祭は、子どもたちに実験に親しむ機会を提供し、科学への興味、関心を育てることが目的。5回目となる今年は4日間で延べ約1,500人が集まり、子どもたちは「実験」「体験」「観察」「ものづくり」の4つのコーナーで科学の不思議を体験しました。附属小学校教員による実験ショー、附属中学校の教員や科学部によるものづくりブースも盛況でした。



みんなの声かけ運動
応援協定締結式

7月30日 兵庫県公館

兵庫県がユニバーサル社会づくりの一環として展開している「みんなの声かけ運動」。障害者や高齢者、妊婦など街中で困っている人に声を掛けて助け合うという運動に兵教大も賛同し、井筒紳一郎理事が学長代理で締結式に出席。井戸敏三知事から協定書を手渡されました。

